

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29307	子ども家庭福祉	宗政 朱利	1年次・後期	講義・2単位	卒業必修

授業の概要 / Course Outline
現在の日本の社会における子ども家庭福祉の理念や意義を理解し、子ども家庭福祉の制度や実施体制について学ぶ。歴史的な流れ、更に子ども家庭福祉の課題について現状と対策、支援について確認し、理解していく。特に子どもの貧困や虐待などの問題について、今後、子ども家庭福祉が進むべき方向を学生自身が思考しながら具体的に学んでいく。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。	A-②、B-②
2. 子どもの人権擁護について理解する。	B-②、A-①
3. 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。	A-②、B-②
4. 子ども家庭福祉の現状と課題、動向と展望について理解する。	A-①、C-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	0%	
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	100%	最終日に理解度の確認テストを70点で実施する。リアクションペーパー・課題・レポートなどの提出で30点。合計100点満点。

教科書 / Textbooks
新 基本保育シリーズ③『子ども家庭福祉 第2版』,児童育成協会監修, 新保幸男/小林理編集,中央法規

参考書 / Reference Books
講義中に適宜紹介する。

予習・復習 / Preparation・Review
教科書は必ず持参する事。日頃から、ニュースや新聞などで子ども家庭福祉に関連する社会的な出来事について情報を集めておく。(予習復習の時間は90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
課題提出後の授業で課題に対するフィードバックを行う。

特記事項 / Special Note
Google Classroomに掲載してある課題や資料を自分で確認しておくこと。対面授業での欠席の場合も同様に、課題を確認し提出すること。また、授業内で出された課題の形式・提出期限は守ること。形式が守れていない場合や提出期限を超えたものは、得点を半減する。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	<b>オリエンテーション、子どもと家庭を取り巻く現状</b>
	少子化の要因や子どもと家庭を取り巻く現状について理解する。
02	<b>子ども家庭福祉の歴史の変遷</b>
	子ども家庭福祉の国内外における歴史的歩みを理解する。
03	<b>子どもの権利</b>
	子どもの権利の歴史的動向や子どもの権利条約について理解する。
04	<b>子ども家庭福祉の制度と法体系</b>
	子ども家庭福祉の法体系、関連する法律、制度について理解する。
05	<b>子ども家庭福祉の行財政と実施機関</b>
	子ども家庭福祉を展開するための法律や実施体制、実施機関、及び行財政について理解する。
06	<b>子育て支援サービス</b>
	子育て支援施策について理解する。
07	<b>母子保健サービスと子どもの健全育成</b>
	母子保健サービスの概要について理解する。
08	<b>子ども虐待DV</b>
	子ども虐待とDV、その対策について理解する。
09	<b>社会的養護</b>
	社会的養護の現状、課題について理解する。
10	<b>ひとり親家庭への福祉</b>
	ひとり親家庭の現状と福祉施策について理解する。
11	<b>障がいのある子どもの福祉</b>
	障がい・障害のある子どもへの福祉施策について理解する。
12	<b>情緒障がい、少年非行問題</b>
	心理治療、非行問題を抱える子どもへの対応・支援について理解する。
13	<b>子ども家庭福祉における地域連携</b>
	地域における多機関・多職種連携・共同とネットワークについて理解する。
14	<b>子ども家庭福祉における次世代育成支援</b>
	複合的な課題を抱える家庭への子育て支援について理解する。
15	<b>まとめ・確認テスト</b>
	授業内容の総括を行い、確認テストを実施する。